

意欲をもち、主体的に学習する児童に

吉川市教育委員会教育長 染谷 宗彦

小学校の新学習指導要領の完全実施を来年度に控え、各学校では、円滑な実施のための大詰めの準備を、また、今後も継承される理念である「生きる力」の実現を目指し、積極的な取組を行っています。その中で、児童生徒の確かな学力の育成は大きな課題であり、学校教育に向けられた期待でもあります。

吉川市立三輪野江小学校におかれましては、平成22・23年度の2年間にわたり埼玉県教育委員会から学力向上研究校の指定及び平成21・22年度の2年間、吉川市教育委員会から指導法改善研究校の委嘱を受け、「学ぶ意欲をもち、主体的に学習する児童の育成」を研究主題とし、算数科を中心に全職員が一丸となり研究を進めてまいりました。児童一人一人の「よさ」や「可能性」を生かし個に応じた指導を工夫すること、また、児童の「思い」や「願い」を生かす学習活動を充実させることを掲げた研究内容は「目の前にいるこの学校の子どもたちに基礎・基本を身につけさせたい。学ぶ喜びを味わわせたい。」という職員の児童への熱意の表れであり、研究への姿勢でもあります。ご参会の先生方には、本校の意図を十分に汲み取られ、研究の内容と成果を各学校の学力向上に向けた取組に取り入れていただければ幸いです。

結びにあたり、本日ここまで「主体的に学習する児童の育成」を合言葉に意欲的かつ地道に研究に取り組んでまいりました平野校長先生を中心とする職員の真摯な態度と熱意に敬意を表するとともに、ご指導をいただきました関係の皆様方に深く感謝申し上げます。

あいさつ

吉川市立三輪野江小学校長 平野 容子

学校は、新しい時代をきり拓く子どもたちの教育を負託され、子どもたちにどのように『生きる力』の育成を迫るか問われています。子どもたちに確かな学力を育成することなく『生きる力』をはぐくむことはできないと考えます。

このような中、本校は埼玉県教育委員会より「学力向上研究校」の指定、吉川市教育委員会より「学習指導法改善」の委嘱を受け、算数科を軸に『学ぶ意欲をもち、主体的に学習する児童の育成』を研究主題とし、研究を進める機会をいただくことになりました。

日々の1時間1時間の授業実践を大切に、教師一人一人が原点に立ち戻り、教材研究に裏打ちされた質の高い授業実践を根幹に、一人一研究授業を教師力を高めるチャンスと捉え取り組んでまいりました。

とくに、確かな学力育成の指針である新学習指導要領を生かすことを研究の中心に据え、①スパイラルな教育課程の取組 ②算数的活動の充実 ③少人数指導の工夫の3つに重点を置き、少しでも数学的な思考力・表現力が子どもたちに育つよう研究を進め実践してきました。

ささやかな研究の発表として、本日はこれまでの研究実践の一端を公開し、ご参会の皆様方から忌憚のない、ご意見を賜りたいと思います。いただきましたご指導等をもとに、さらに、本研究の充実に努め、新しい時代を担う子どもたち一人一人に確かな学力を育成し『生きる力』をはぐくんでまいります所存です。

最後になりましたが、これまでご指導いただきました諸先生方、並びに、本研究発表会にご参会いただきました先生方に深く感謝を申し上げ、あいさついたします。

ご指導いただいた先生方

文部科学省学力調査官・教育課程調査官
埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課長
埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課主席指導主事
埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課指導主事
埼玉県教育局東部教育事務所長
埼玉県教育局東部教育事務所主席指導主事
埼玉県教育局東部教育事務所指導主事
埼玉県教育局東部教育事務所指導主事
埼玉県教育局東部教育事務所指導主事
三郷市立彦成小学校長
吉川市教育委員会教育長
吉川市教育委員会教育部長
吉川市教育委員会教育部長兼学校教育課長
吉川市教育委員会学校教育課庶務担当兼学校支援担当副主幹
吉川市教育委員会学校教育課学校支援担当副主幹
吉川市教育委員会学校教育課学校支援担当副主幹
吉川市教育委員会学校教育課学校支援担当副主幹
吉川市教育委員会学校教育課学校支援担当副主幹

榊山敏郎 先生
児玉大輔 先生
小櫃真人 先生
新井英男 先生
柿沼光夫 先生
春田盛男 先生
飯塚義浩 先生
今木敏浩 先生
内田十詩哉 先生
有田るみ子 先生
染谷宗彦 先生
岡田忠篤 先生
染谷行宏 先生
関根秀一 先生
松田年男 先生
谷ヶ崎均 先生
清水孝二 先生
前田稔 先生

平成21、22年度 吉川市教育委員会研究委嘱「学習指導法の改善」
平成22、23年度 埼玉県教育委員会指定「学力向上研究校」

研究発表会

学ぶ意欲をもち、主体的に学習する児童の育成
～ 基礎・基本を身につけ、学ぶ喜びを実感できる指導法の工夫・改善 ～

むすびに

「学ぶ意欲をもち、主体的に学習する児童の育成」を研究主題に、平成21・22年度の2ヶ年にわたり吉川市教育委員会から指導法改善の研究委嘱を受け、さらに平成22・23年度の2ヶ年にわたり埼玉県教育委員会から学力向上研究指定校に指定され、研究を続けてまいりました。本日ここに皆様方のご参会とご指導により、本発表を迎えることができました。

日々の授業実践を大切に、学年の系統性を踏まえて、児童に基礎的・基本的な内容の徹底を図ってまいりました。学力向上取組を継続してきた結果、目を輝かせて自分の考えを発表する児童や学習タイムで自己診断カードに熱心に取り組む児童の姿が増えてまいりました。このような児童のよい変容は、保護者の学校への信頼にこたえることであり、私たち教職員にとっても研究の成果のひとつと考えております。

終わりに、これまで熱心にご指導いただきました諸先生方に厚くお礼申し上げるとともに、今後も研修推進にご支援いただきますようお願い申し上げます。

教頭 鈴木 勉

【研究に携わった職員】

平成22年度（埼玉県教育委員会指定学力向上研究校）

（吉川市教育委員会研究委嘱「学習指導法の改善」）

校長 平野容子	教頭 鈴木 勉	教諭 戸井田かつの
教諭 宮川まゆみ	教諭 佐藤由美子	教諭 浅子宏子
教諭 増田 清	教諭 鹿野明美	教諭 田中裕史
教諭 天野芳江	教諭 岡部省三	教諭 橋本隆弘
教諭 進士有美	教諭 寒河江暁子	教諭 萩原弘貴
教諭 佐藤真由美	養護教諭 長本キヨ子	事務主事 萩原弘貴
事務主事 高橋一枝	事務主事 木葉奈穂子	特別支援員 染谷敏英
非常勤職員 小野寺佳代子	用務員 小島孝夫	

平成21年度（吉川市教育委員会研究委嘱「学習指導法改善」）

教頭 町田博徳	教諭 三浦毅則	教諭 宮崎智子
教諭 落合彩子	教諭 小川早春	用務員 石井輝雄



平成22年11月16日（火）

埼玉県吉川市立三輪野江小学校



授業研究部

全校共通の手立て

- 知識・技能の確実な定着のため、発達や学年の段階に応じたスパイラルによる教育課程を編成する。
- 様々な活動場面で、算数的活動を生かした指導を充実させる。
- 学習内容や進捗状況に応じて、少人数指導の学習形態を工夫する。

低学年ブロック

- 学習の流れがわかるように掲示をし、流れを意識させる。
- 問題場面をイメージしやすくするために、教材・教具、提示の仕方を工夫する。
- 発表の仕方を参考にして、みんなにわかりやすく発表させる。
- 学力診断テスト、算数アンケート、レディネステスト等から児童の実態を把握する。
- 自己評価カード、指導支援計画を作成し、個々のつまずきに合わせた支援の準備をする。(具体物・ヒントカード等)
- イメージしやすいように具体物を提示したり、視覚に訴えたり、臨場感をもたせるなど、課題提示の方法を工夫する。
- 文章の読解力をつける。
(わかっていることは青線、聞かれていることは赤線を引く)
(おだんごの図、テープ図、線分図等から立式に導く)
- 既習事項の定着のため、学習コーナーを設置する。
- ヒントカードを活用する。
(提示するタイミング、児童の実態に応じて)
- 言語活動を多く取り入れ、話す力をつける。
(説明の仕方のパターン化、聞き合う場、算数用語の理解、コミュニケーション能力の育成を他教科と関連させて指導する)

高学年ブロック

- 算数の学習の仕方がわかるように資料を掲示する。
- 自分の考えを持てるように支援する。
(具体物・カード・教師や友達のアドバイス)
- 自分の考えをわかりやすく伝えるための支援をする。
(発表の仕方・聞き方・算数用語の理解)
- 学力診断テスト、算数アンケート、レディネステストなどの実施により、児童の実態や学習状況を把握する。
- 自己評価カードや座席表の活用、支援計画の作成、個々の到達目標の設定を行う。
- 課題の提示の仕方を工夫する。
(絵・図・具体物など視覚でとらえられるように)
- 文章の読解力をつける。
(わかっていることは青線、聞かれていることは赤線を引く)
- 既習事項定着のため、学習コーナーを設置する。
- ヒントカードを活用する。
(提示するタイミング、児童の実態に応じて)
- 言語活動を多く取り入れ、話す力をつける。
(説明の仕方のパターン化、聞き合う場の設置、算数用語の理解、コミュニケーション能力の向上)

研究の全体構想

学校教育目標

自ら学ぶ意欲と豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成

- 勉強する子
- やさしい子
- 元気な子

研究主題

学ぶ意欲をもち、主体的に学習する児童の育成

～ 基礎・基本を身につけ、学ぶ喜びを実感できる指導法の工夫・改善 ～

めざす児童像

- 算数の楽しさに気づき、意欲的に取り組む子
- 自分から課題を見つけ、見通しをもって考える子

研究の視点

- 視点1** 児童が主体的に取り組めるような教育課程を工夫し、算数的活動を充実すれば、算数の楽しさを実感でき、意欲的に学習するようになるであろう。
- 視点2** 児童の実態や学習状況を把握し、少人数指導を工夫することで個に応じた支援と評価を行えば、基礎・基本が身につけ、自分から課題を見つけられるようになるであろう。
- 視点3** 既習の内容から考える手立てを明確にすれば、学習の見通しが立ち、進んで考えるようになるであろう。

確かな学力の育成

生きる力の育成

授業支援研究部

学び方と意欲を育てる取組

既存の定着・活用
算数コーナー

学び方指導
ノートの書き方
発表の仕方・聞き方

はっぴょう名人・聞き方名人
＜算数の発表のしかた＞
① 発表します。
② 私は、()で考えたので、
...に、なりました。
③ わたしと同じ考えの人はいますか。
④ 意見や質問がある人はいますか。
【同じです！わたしもOOさんの考えに同じです。】
【OOさんにつけました。】
【OOさんと同じ考えです。】
【OOさんと同じ考えです。】
⑤ これで発表を終わりにします。

学びの振り返り
自己評価カード

基礎基本の定着
算数自己診断カード

資料研究部

児童の実態把握と算数遊びの創造

算数アンケート
児童の勉強アンケート
1. あなたは算数の学習が好きですか、あてはまる記号に○をつけなさい。
ア. 好き イ. どちらかというと好き ウ. どちらかというと嫌い エ. 嫌い
オ. 「好き・どちらかというと好き」と答えた人の好きな理由で、あてはまる記号に○をつけ、その理由がある人はその後に書きなさい。
ア. 計算が楽しいから イ. 答えが決まっているから
ウ. 自分のときを勉強できるとうれいから オ. 道具を使って考えるのが楽しいから
オ. その他
2. 「嫌い・どちらかというと嫌い」と答えた人の嫌いな理由で、あてはまる記号に○をつけ、その理由がある人はその後に書きなさい。
ア. 計算がむづかしいから イ. 説明がしようにできないから
ウ. 道具がしように使えないから エ. ときがわからないから
オ. その他

算数への興味・関心を高め、数や量、図形の感覚を養う。

算数おもしろコーナー

算数広場

輪投げ遊び

つみき遊び

児童の想いや願いを把握し、指導に役立てる。